

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和2年5月28日

目標は・・・

原因は想像がつくのですが、最近悩み事があります。

清水小学校勤務は5回目となります。はじめに勤務した頃は、2年生の担任をしましたが、学年4学級、各学級30名ほどの児童がいましたが、子どもの名前を覚えるのは容易だったように思います。

10年以上前に教頭でいたときも600名近く児童がいました。理科の授業をしていたからでしょうか。その時にも児童の名前を覚えるのはそれほど困らなかったように思います。

しかし5回目の今回は少々勝手が違います。玄関で名前を覚えながら検温をしたいと思っているのですが、なかなか名前が覚えられない状況が続いています。

児童の後をついて、靴箱の名前を確認しながら、『よし、明日こそは名前を呼んで、検温しよう』と思うのですが、一向に顔と名前が一致しません。

もし言い訳ができるとしたら、ほとんどの児童がマスクを着用しての登校のため、低学年では特に見分けがつきにくいかも知れませんが…児童にとっては、私は「佐竹」より「校長」ですむわけですが…

保護者にとっては、お子さんが生まれてきてくれてありがとう。こんな子どもに育ててほしい…などの願いから素敵な名前を付けていると思います。当然子どもたちも名前と呼ばれることを願っているはずですから、今回児童会が、名前を呼びながらあいさつしたいという思いは素晴らしいことだと思います。

そこで私は、1学期のうちには、全ての児童の名前を覚えられるように目標を立てました。

以前の清水小学校は、名札を付けての登校だったので、名札を見ながらの会話もできましたが、今では登校後に名札を付けるため、実際に関わっていないとなかなか覚えられないのも事実です。

これからは、緊急事態宣言も解除され、通常の授業に戻って来ます。みんなの勉強しているところを見に行きます。勉強するところをのぞいたりするので、許してください。

このところ毎日です…

前回の校長室だよりで、害虫についての注意喚起をしましたが、このところ毎日ムカデが現れては、『校長先生、ムカデが…』と伝えに来てくれています。このままではムカデ校長になってしまうかもです。

職員からも去年までは、これほどムカデが学校で発見されることはなかったのに、今年はどうしてでしょう。校長先生が連れて来ましたか???.と言われる日々を送っています。先週の金曜日からすでに5匹のムカデが捕獲されました。中には最大18cmのムカデもあり、かまれていないのに、どこか痛い気もします。

ムカデといえば、嫌がる人がほとんどだと思いますが、ムカデにまつわる面白い昔話があります。

『ムカデの医者むかえ』と言う話です。読んだ人または知っている人はいますか？

話の内容は、いろんな虫たちが一軒の家で、仲良く暮らしていました。そんな中、カブトムシの具合が悪くなり、医者を呼びに行くことになり、足の一番速い虫を選びました。その選ばれた虫がムカデです。理由は百本も足があるからでした。ムカデは、「ぼくにまかせろ!」と言って玄関に向かいました。…果たして結果は?ぜひ読んでみてください。

昔話の面白さも加わり、楽しく読むことができますよ。

さて、読書といえば、先日ある学級担任の先生が【音読と黙読】と言うことで、学級通信を書いていました。その先生が書かれていることは、音読、黙読それぞれ目的や良さがありますが、声に出して読む音読は、一つの作業だけでなく、体のいろいろな部分を使っての複数の作業になるので、学級では大事に取り組んでいきたいということを書かれていました。

実は、この先生とは昔からの知り合いなのですが、私の子どもたちもこの先生に教えていただきました。

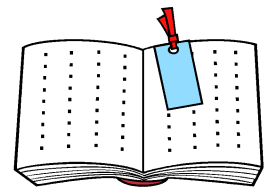
私は、漫画は好きですが、読書はあまり好きではありませんでした。家でも自分の子どもたちに読書をしなさいとは言えないようなものでしたが、有り難いことにこの先生から教えていただいたことを積み重ねるうちに私の子どもたちは、読書が好きになりました。今でもその習慣は続いているようです。

先生から習ったことで、本を読むことの楽しさを知り、自分たちの世界を広げていくことにつながったようです。

音読が多様な学習の基礎になると書かれていましたが、その通りだと思います。

緊急事態宣言が出て、私も『積ん読』になっていた本を開いて読み始めました。音読ではないですが、あらためて読んでみると、自分の読み方づくり出す映像の楽しさがあります。

今一度、読書について考えてみるのも良いかもしれません。



いよいよサメ献立給食だ!!!

臨時休校措置で、延期になっていた『サメ献立』が満を持しての登場となりました。先日から栄養教諭が各教室を回り、給食指導をしていました。本日給食メニューとして登場しましたが、みんなの感想も良かったです。

これからは、土佐清水市の給食メニューとしてみんなのおなかを満たしてくれることでしょう。

